



2018年11月12日

各 位

日本アジア投資株式会社
(コード番号：8518)

従来連結基準による2019年3月期第2四半期決算概要

71.9%減収、四半期純利益5.3億円の赤字 プロジェクトの売却益が減少、評価損・引当繰入額が発生 第4四半期に売却益計上の見込み、通期業績見込値の変更なし

従来連結基準による2019年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益が716百万円（前年同期比71.9%減）、営業利益が△465百万円（前年同期+714百万円）、経常利益が△460百万円（同+640百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益が△534百万円（同+493百万円）となりました。

前年同期の大型プロジェクト売却の反動で減収となり、海外投資先に対する評価損や引当繰入額が発生したことも加わり赤字となりました。

なお、2018年5月に発表した通期の「従来連結基準による見込値」に変更はありません。第4四半期に株式売却益を見込み、通期で4期連続の最終黒字を計画しています。

【従来連結基準による連結経営成績と業績見込値】

(単位：百万円)

	2018/3期 第2四半期 累計実績	2019/3期 第2四半期 累計実績	増減率	2019/3期 通期 業績見込値	2018/3期 第2四半期 累計 進捗率
営業収益	2,547	716	△71.9%	3,450	20.8%
営業利益	714	△465	—	700	—
経常利益	640	△460	—	550	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	493	△534	—	470	—

(注1) 従来連結基準とは：

当社グループでは、2007年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 2006年9月8日 実務対応報告第20号）を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えてお

り、参考情報として、従来 of 会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まない当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

(注2) 従来連結基準による見込値とは：

業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資は、その事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

(注3) 将来に関する記述等についてのご注意：

「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

以 上